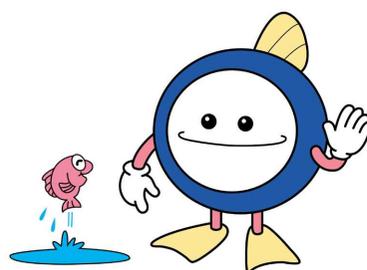


日向市上下水道料金等審議会

第 1 回



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

水の星 支えるあなたにありがとう

令和 6 年度 下水道事業 推進標語

第1回 日向市上下水道料金等審議会

【次第】

- ①開会
- ②委嘱状交付
- ③市長あいさつ
- ④委員紹介
- ⑤日向市上下水道料金等審議会について
- ⑥会長・副会長の選任
- ⑦諮問
- ⑧説明
- ⑨議題
- ⑩その他
- ⑪閉会

日向市上下水道料金等審議会について

- ・ 日向市上下水道料金等審議会条例に基づき設置するもの。
⇒ 委員15人以内をもって組織し、市長の諮問に応じ、
条例に定める事項について審議し答申を行う。

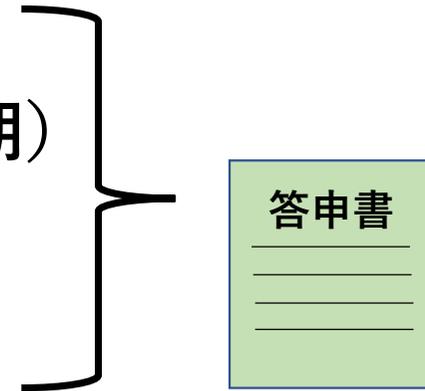
(今回)

下水道使用料及び農業集落排水施設使用料に関する事項

※下水道使用料と農業集落排水処理施設使用料は同じ料金体系のため以降「下水道使用料」として説明を行います。

委員の皆様へ審議いただく内容

- 下水道使用料改定の必要性
（改定する場合の改定率、改定の時期）
- 経営指標の改善目標



経営戦略の改定内容に反映

審議会の開催予定について

第1回 (本日)	第2回～第4回 (7月～9月)	第5回 (最終回) (9月～10月予定)
<ul style="list-style-type: none">・ 下水道の役割・ 日向市下水道事業の概要・ 汚水処理を取り巻く課題と今後の取組・ 使用料改定に関する国の動向	<ul style="list-style-type: none">・ 下水道使用料の適正水準の検討 (経営戦略の改定)	<ul style="list-style-type: none">・ 答申書のとりまとめ、提出

【本日の説明】

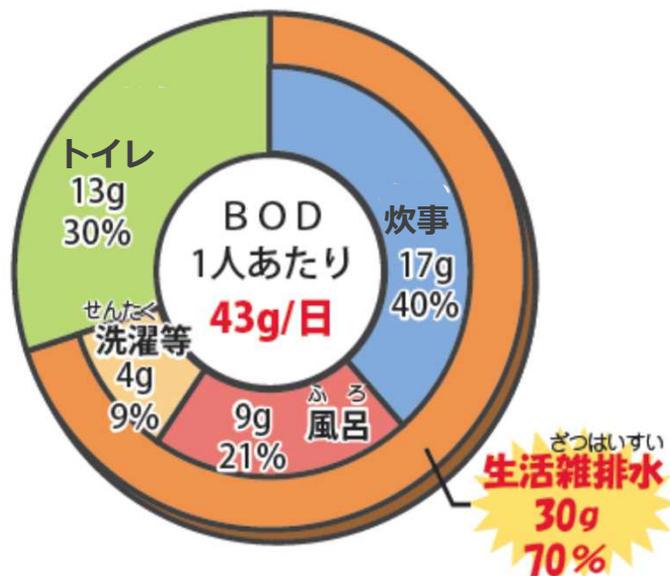
- ・ 下水道の役割
- ・ 日向市下水道事業の概要
- ・ 汚水処理を取り巻く課題と今後の取組
- ・ 使用料改定に関する国の動向

下水道の役割

私たちの生活は、どのくらい水を汚しているの？

河川等の水質汚濁は、私たちの生活から出る汚れた水が主な原因です。中でも台所から出る汚れが最も多くなっています。

生活排水の中の汚れの割合



BOD: 水の汚れを表す指標の一つで数値が大きいほど汚れていることを表します。

水を汚してしまうと、その水をきれいにするために多くの水が必要になります。

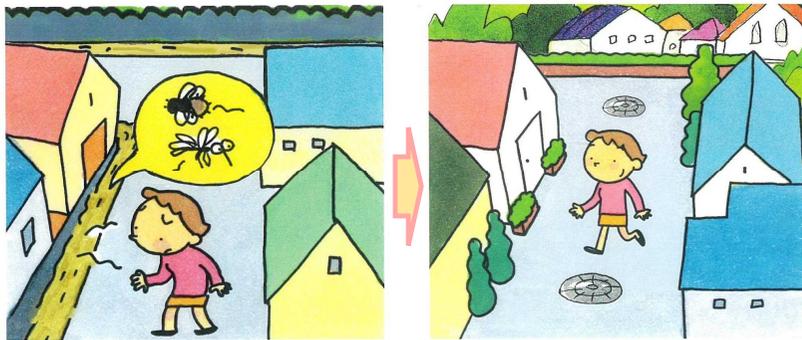
これだけのものを流したら、魚が住める水質にするのに、たくさんの水が必要になります。



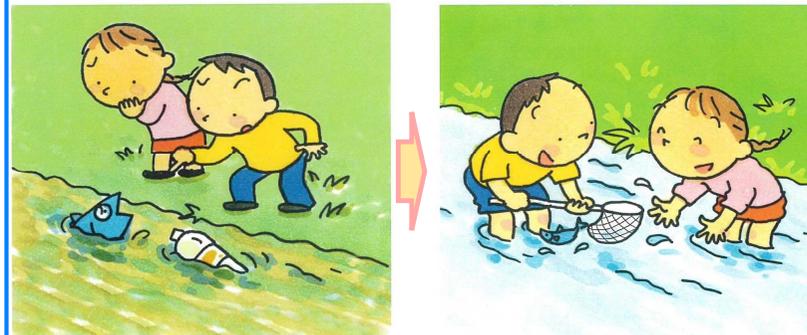
下水道の役割

普段は見えない下水道。
でも、見えないところで私たちの快適な生活を支えています。

①衛生環境の向上



②水質保全

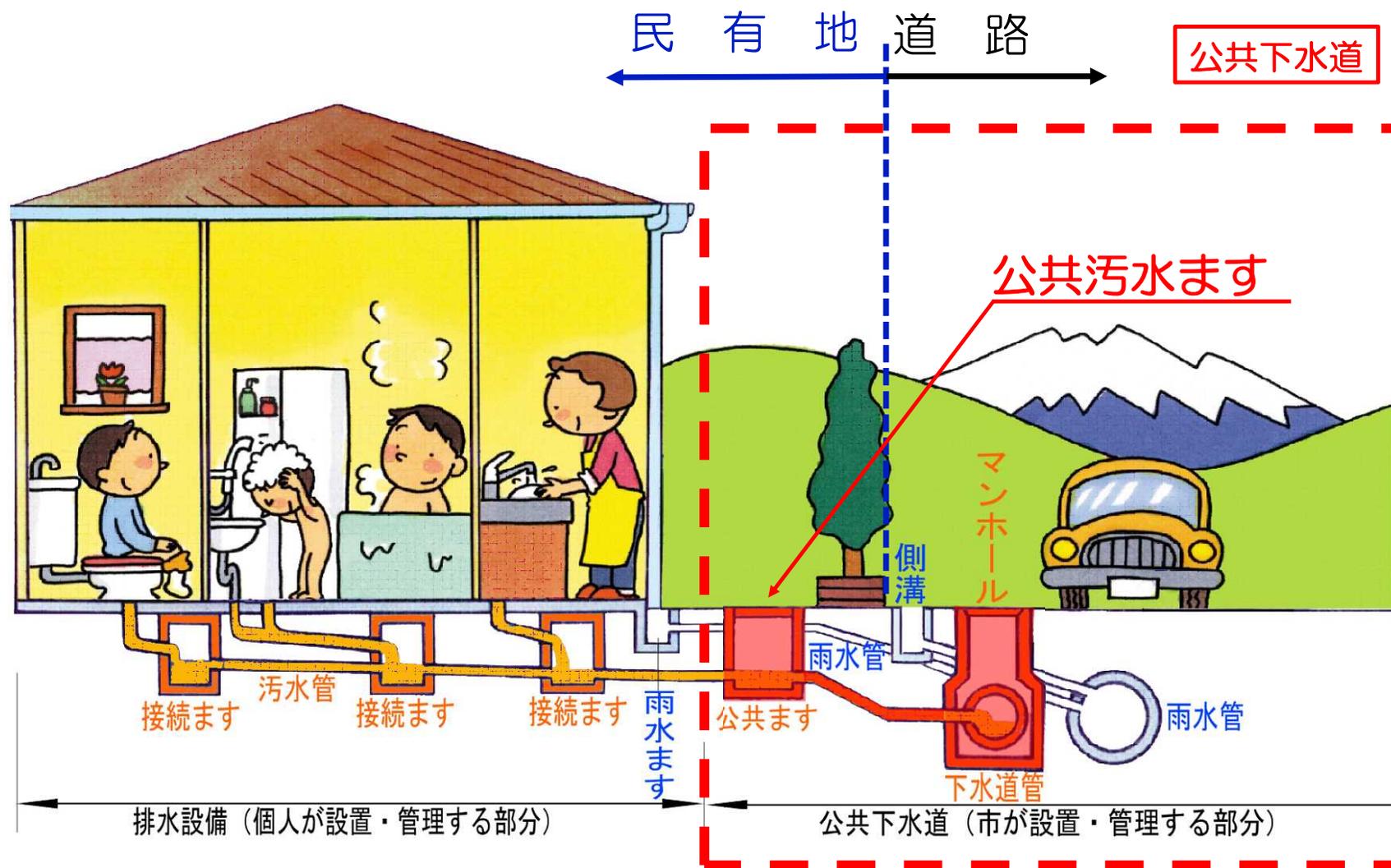


③浸水対策

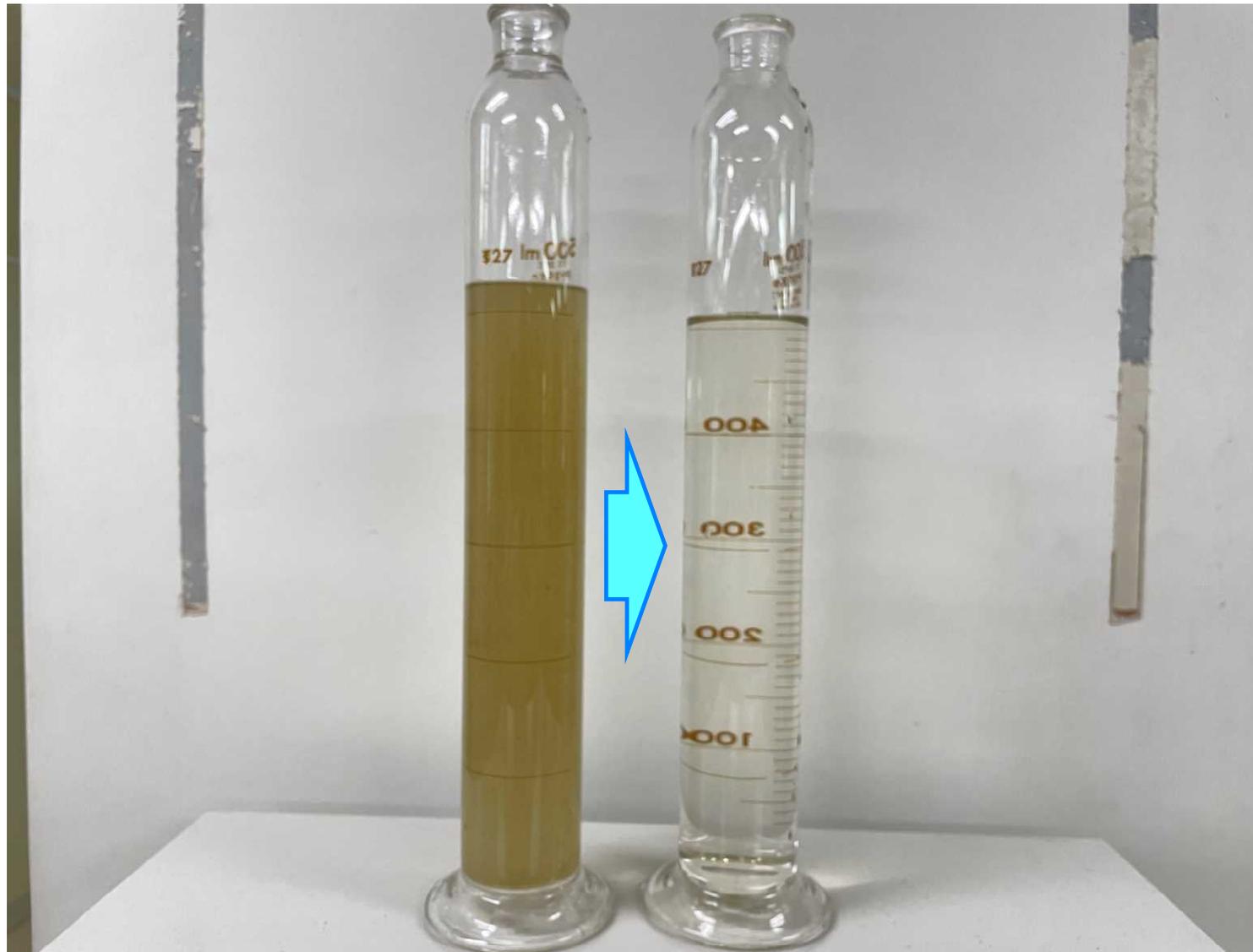


下水道事業は、衛生的で
快適な生活環境の整備と、
河川や海の水質保全を目的
としておこなわれています。

家庭の汚水が下水道管に流れるまで



下水道処理施設で処理された汚水



日向市下水道の事業概要

日向市の下水道事業

【公共下水道事業】

- ・昭和48年（1973年） 基本計画作成
- ・昭和49年（1974年） 事業着手（50年前）
- ・昭和62年（1987年） 一部供用開始（37年前）
- ・令和4年度までの建設改良総投資額 約382億円

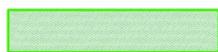
【農業集落排水事業】

地区	山陰地区	秋留地区	美々津地区
事業期間	H8～H14 (1996～2002)	H9～H14 (1997～2002)	H16～H21 (2004～2009)
総事業費	23.1億円	10.2億円	11.0億円

※供用開始から14～24年が経過

日向市管内図

※各人口は令和5（2023）年3月31日現在
%は行政区域内人口に対する割合

凡 例	
公共下水道 ※①	
農業集落排水 ※②	
合併浄化槽 ※③	

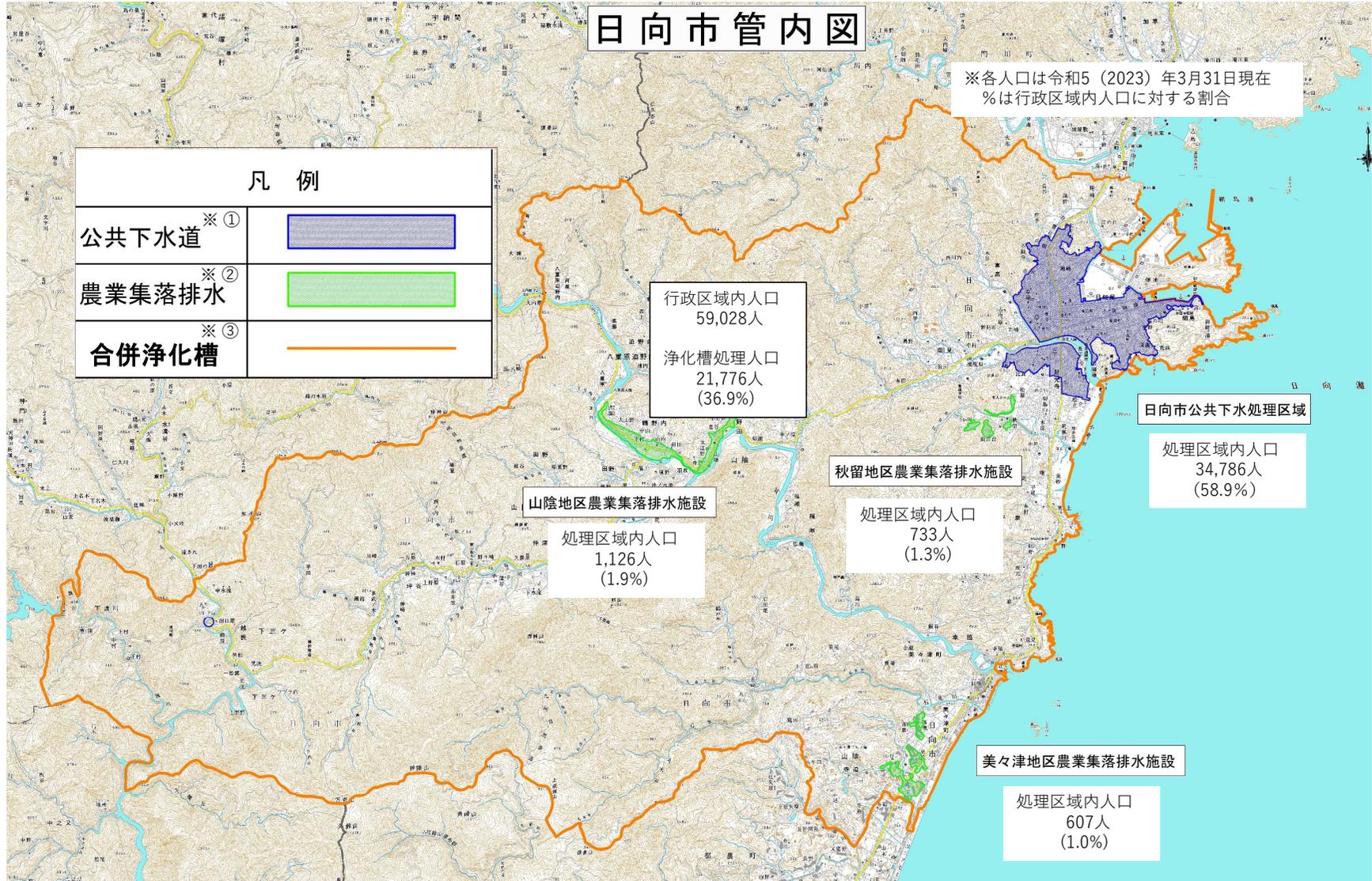
行政区域内人口
59,028人
浄化槽処理人口
21,776人
(36.9%)

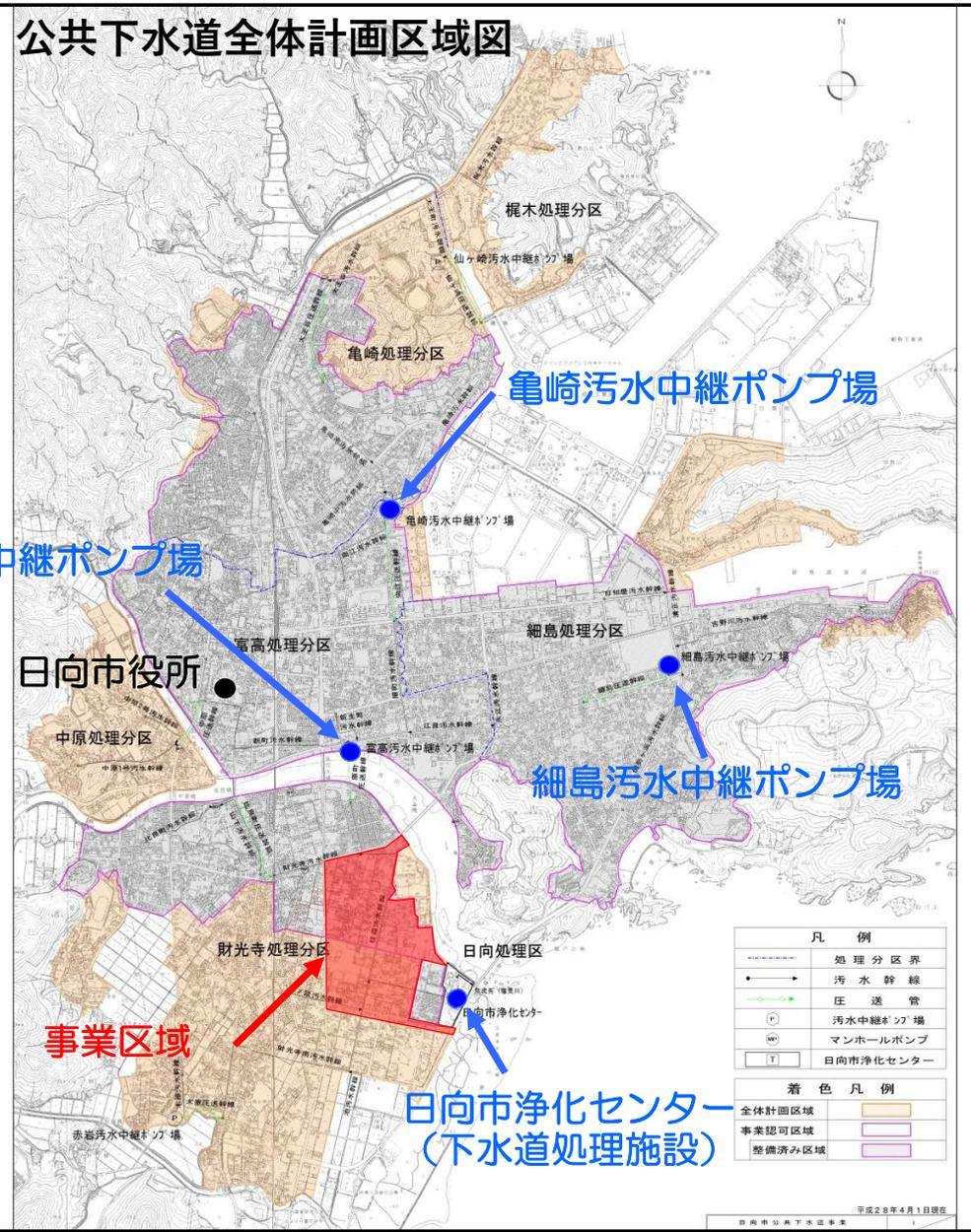
日向市公共下水道処理区域
処理区域内人口
34,786人
(58.9%)

山陰地区農業集落排水施設
処理区域内人口
1,126人
(1.9%)

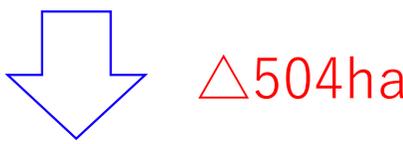
秋留地区農業集落排水施設
処理区域内人口
733人
(1.3%)

美々津地区農業集落排水施設
処理区域内人口
607人
(1.0%)





公共下水道全体計画区域：1,381ha



R5計画区域見直し後：877ha

- R5下水道区域縮小エリア
- 下水道整備済み区域
- 下水道整備施行中【R8完成】



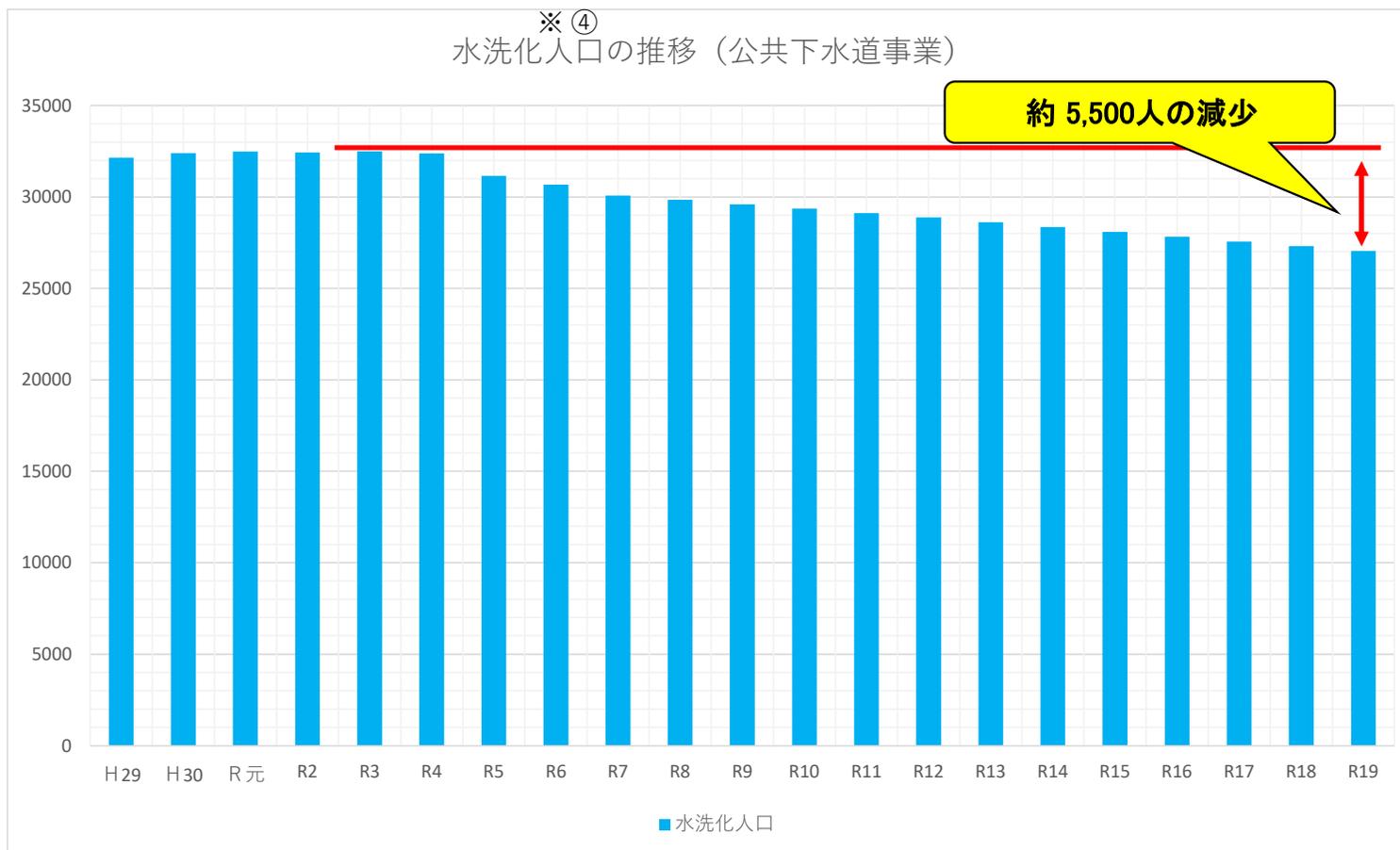
汚水処理を取り巻く課題と今後の取組

汚水処理を取り巻く課題と今後の取組

【課題】

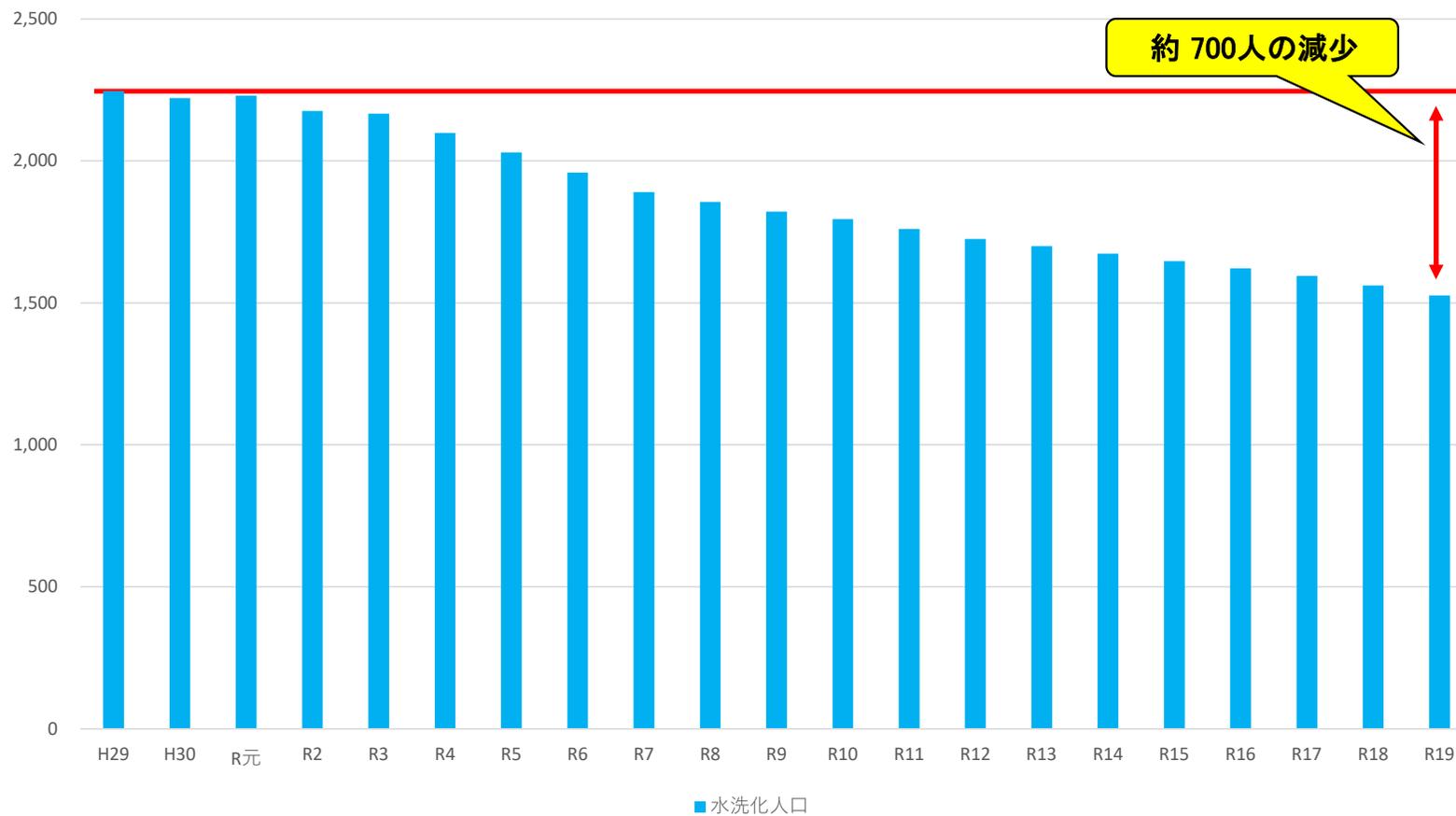
- ①人口減少に伴う使用料収入の減少
- ②施設の老朽化による大量更新時期の到来
- ③耐震化、耐津波化の推進

①人口減少に伴う使用料収入の減少

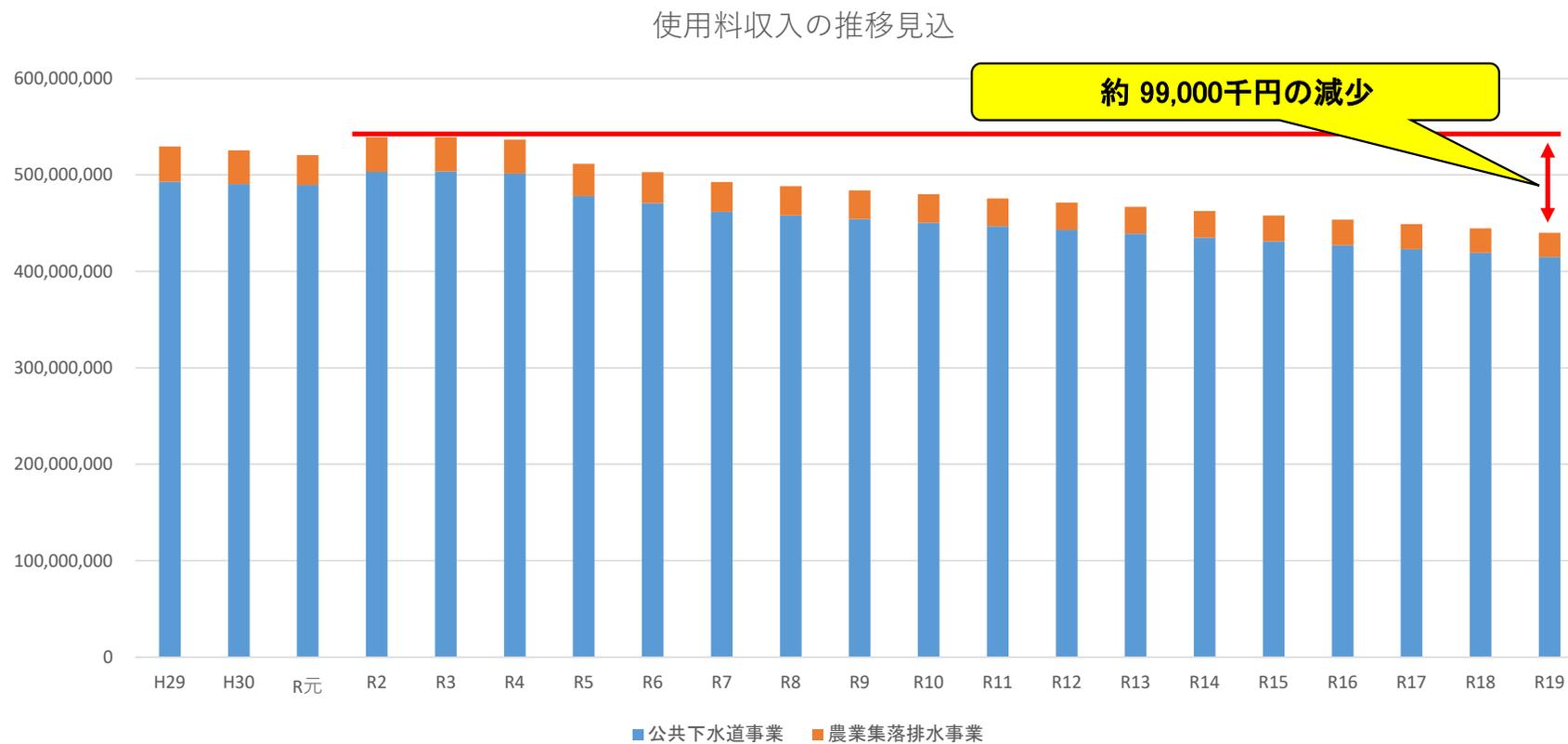


①人口減少に伴う使用料収入の減少

水洗化人口の推移（農業集落排水事業）

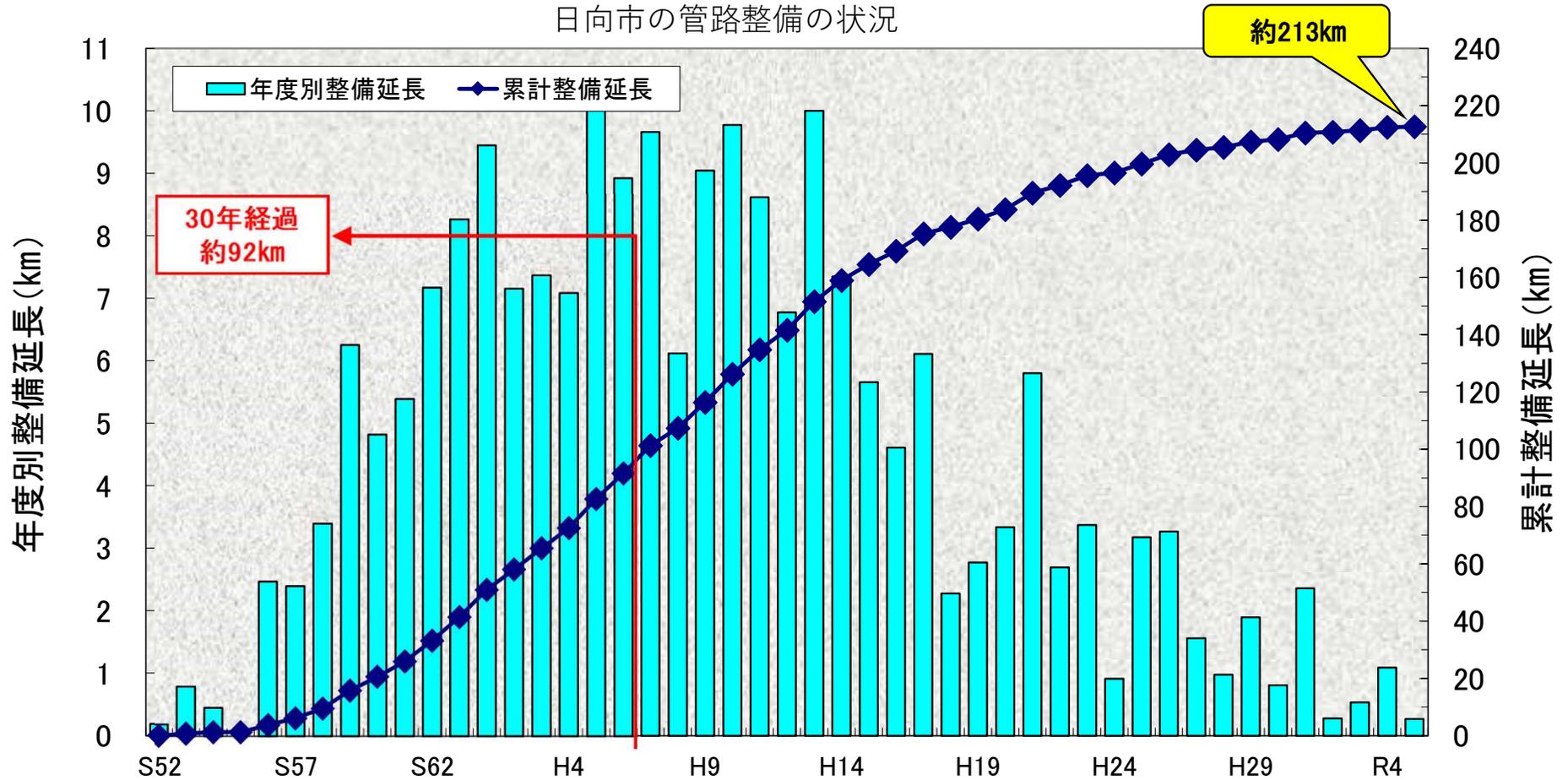


①人口減少に伴う下水道使用料収入の減少



②施設の老朽化による大量更新時期の到来

日向市の管路整備の状況



一般的に布設後30年経過すると道路陥没等の事故が急増すると言われています。

②施設の老朽化による大量更新時期の到来

- ・施設の老朽化（37年経過）

 - ⇒ 現環境を持続するための維持補修・更新費の増

- ・節水機器の普及

 - ⇒ 排出污水の高濃度化による処理設備負担の増

老朽化した施設の状況



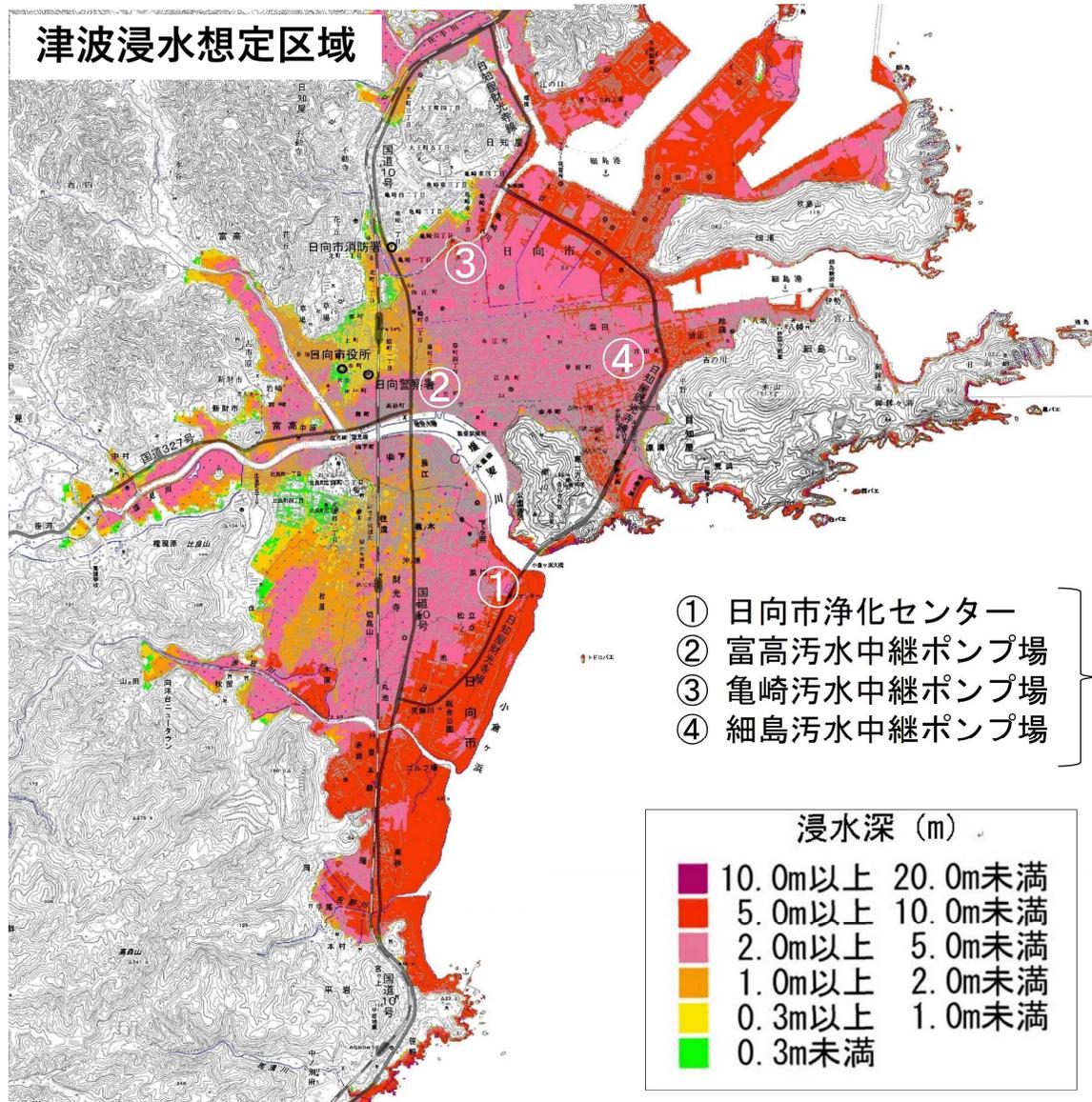
下水道管路内の様子



日向市浄化センター内の汚水処理設備
(下水道処理施設)



③耐震化、耐津波化の推進



- ① 日向市浄化センター
- ② 富高汚水中継ポンプ場
- ③ 亀崎汚水中継ポンプ場
- ④ 細島汚水中継ポンプ場

下水処理の機能を確保するため、各処理施設は、海岸沿いや低い土地に集中しています。

③耐震化、耐津波化の推進

地震・津波発生により被災した下水道施設



持続可能な下水道事業を目指して

【市のこれまでの取組】

- ①下水道事業全体計画縮小の見直しを実施
（日向市公共下水道事業計画市民検討委員会）
- ②汚水処理の事業運営に係る施設の共同化
⇒他の汚泥処理場との共同処理に向けた事業に着手
- ③資産活用による収入増加の取組
⇒消化ガス発電の実施



持続可能な下水道事業を目指して

【今後の更なる取組・検討事項】

①民間活力の導入

⇒ 適正な維持管理、ストックマネジメント ※⑤

②施設のダウンサイジング ※⑥

⇒ 人口減少を勘案した施設・設備の更新

③下水道使用料の適正水準の検討（経営戦略の見直し）

⇒ 「日向市上下水道料金等審議会」において審議

下水道使用料改定の検討に関する 国の動向

使用料の適正水準について

「全国財政課長・市町村課長合同会議資料」(平成17(2005)年1月21日)

※⑦

・現在の使用料単価では汚水処理原価を回収できない事業にあつては、まずは使用料単価を150円/m³に引き上げること(家庭使用料3,000円/20m³・月(税抜き))。特に、資本費等汚水処理原価が著しく高くかつ経費回収率※⑧の低い事業にあつては、早急な使用料の適正化が望まれること。なお、汚水処理原価が150円/m³を下回る場合は、使用料単価は当該汚水処理原価を上限とすべきであること。

【日向市】

(使用料単価)

・127.2円(令和4年度決算) ※ 2,500円/20m³・月(税抜き)

(経費回収率)

・92.16%

※100%を下回るということは、汚水処理に係る経費が、下水道使用料以外の収入により賄われている状態を意味する。

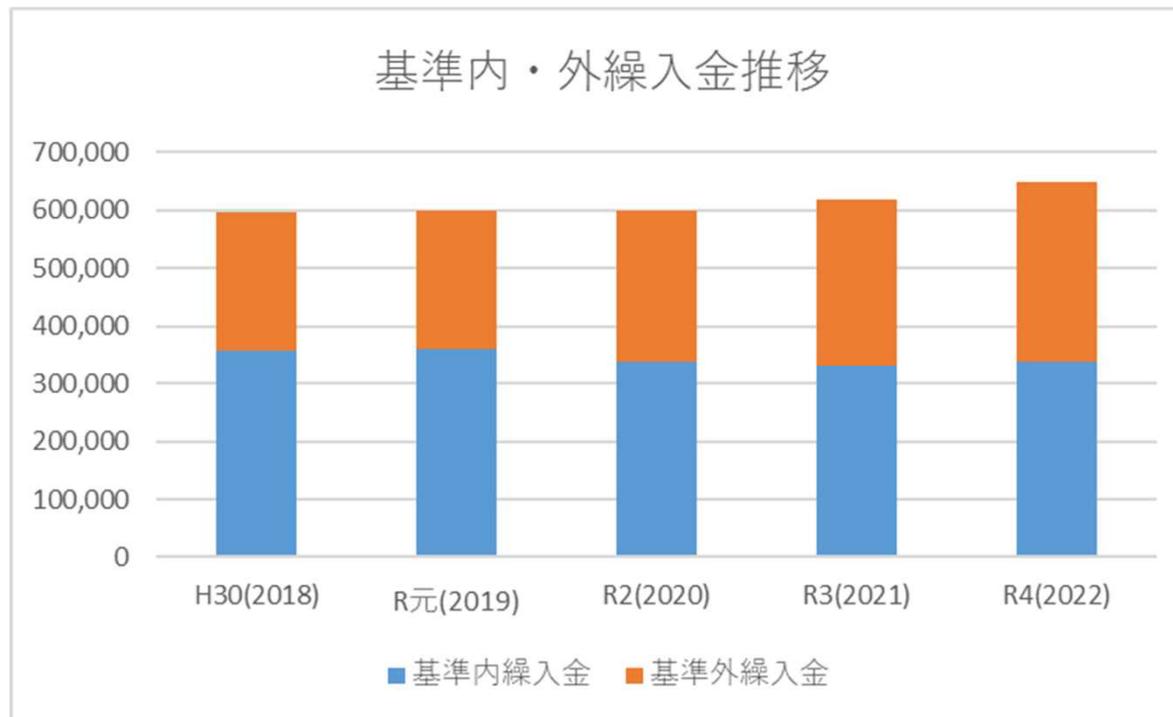
県内8市における下水道使用料の状況①

順位	団体名	使用料 単価		汚水処理原価
①	日南市	157.6円	>	149.9円
②	都城市	146.8円	<	148.7円
③	串間市	145.6円	<	160.8円
④	延岡市	143.0円	<	150.0円
⑤	小林市	139.3円	<	160.3円
⑥	西都市	134.5円	<	151.7円
⑦	宮崎市	133.0円	<	151.0円
⑧	日向市	127.2円	<	138.0円

※令和4（2022）年度実績

※⑨ ※⑩
一般会計からの繰入金の推移

	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
基準内繰入金	358,024	360,987	339,725	330,336	338,875
基準外繰入金	237,976	239,013	260,275	289,664	311,125
繰入金合計	596,000	600,000	600,000	620,000	650,000



独立採算の原則

【地方公営企業法第17の2（経費の負担の原則）第2項】

…その経費は、前項の規定により地方公共団体の一般会計又は他の特別会計において負担するものを除き、**当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない。**

「下水道使用料」による自立経営が基本

（経営に伴う収入）

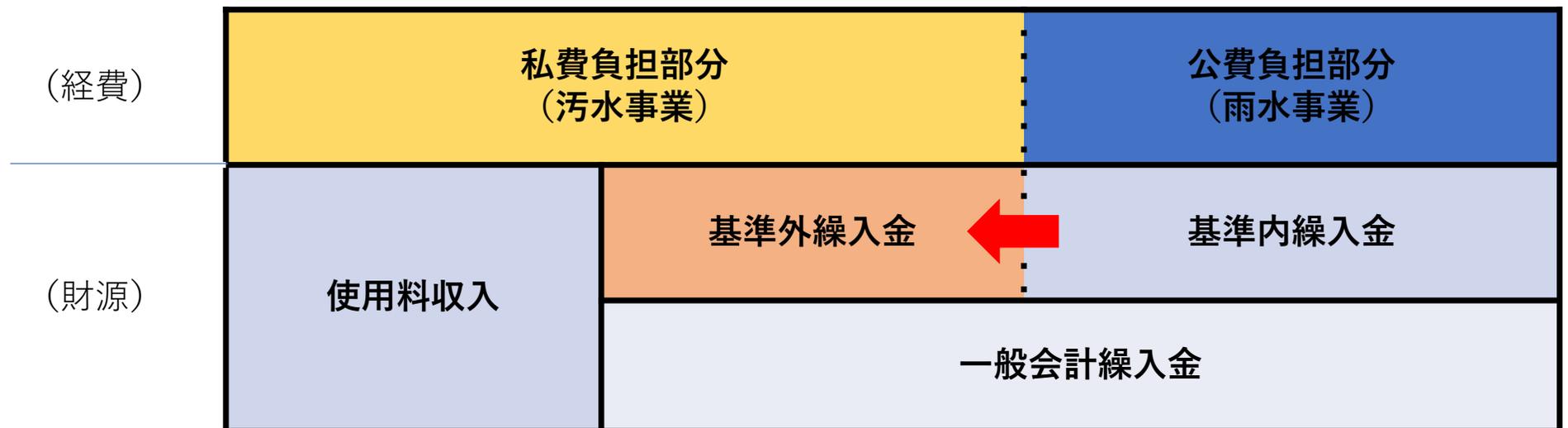
雨水公費・汚水私費の原則

●雨水にかかる経費 ⇒ 公費（一般会計繰入金）

自然現象によるもので、雨水の排除により浸水から街を守り、受益の範囲が広く一般に及ぶ。

●汚水にかかる経費 ⇒ 私費（下水道使用料）

原因者及び下水道使用者を特定でき、受益の範囲は使用者に直接つながる。



経営戦略^{※⑪}の改定について

「経営戦略」の策定推進について(平成28(2016)年1月26日) 総務省通知

・経営戦略ガイドラインを公表 ⇒ 令和2(2020)年度までに100%の策定を目指す。

【日向市】10年間の財政投資計画を含む経営計画

- ・公共下水道事業・・・平成30(2018)年4月策定
- ・農業集落排水事業・・・令和2(2020)年3月策定

「令和3(2021)年度の公営企業等関係主要施策に関する留意事項について」(令和3(2021)年1月22日) 総務省通知

・令和7(2025)年度までの経営戦略の改定を要請。

経営戦略の改定について

※ ⑫

- 社会資本整備総合交付金等の交付要件確認についての留意事項(令和3(2021)年6月3日) 国土交通省

・令和7(2025)年度からの社会資本整備総合交付金の要望調査に改定した経営戦略における経営改善に向けたロードマップを提出することを要件化(令和6(2024)年11月に国へ提出)

【具体的内容】

①経営健全化に関する定量的な業績指標及び目標年限

業績指標・・・経費回収率、経常収支比率、水洗化率等

②収入増加・支出削減のための具体的取組及び実施時期

例:令和〇年度までに経費回収率を〇%に向上させるため令和〇年度に使用料改定を実施する。

③収支構造の改善の要否等について、少なくとも5年に1度の頻度で、定期的な検証・見直しを行う旨を記載していること

※県の審査期間を考慮すると9月末には改定が済んでいることが望ましい。

有識者の意見を聴いて改定されたもの
(日向市上下水道料金等審議会)

(その他参考)

下水道使用料と合併浄化槽維持管理費用
との比較

下水道使用料・合併浄化槽維持管理費用の比較

◆ 下水道の場合（4人家族：20m³/月使用時）

基本料金550円 + 使用量2,200円 = 2,750円/月

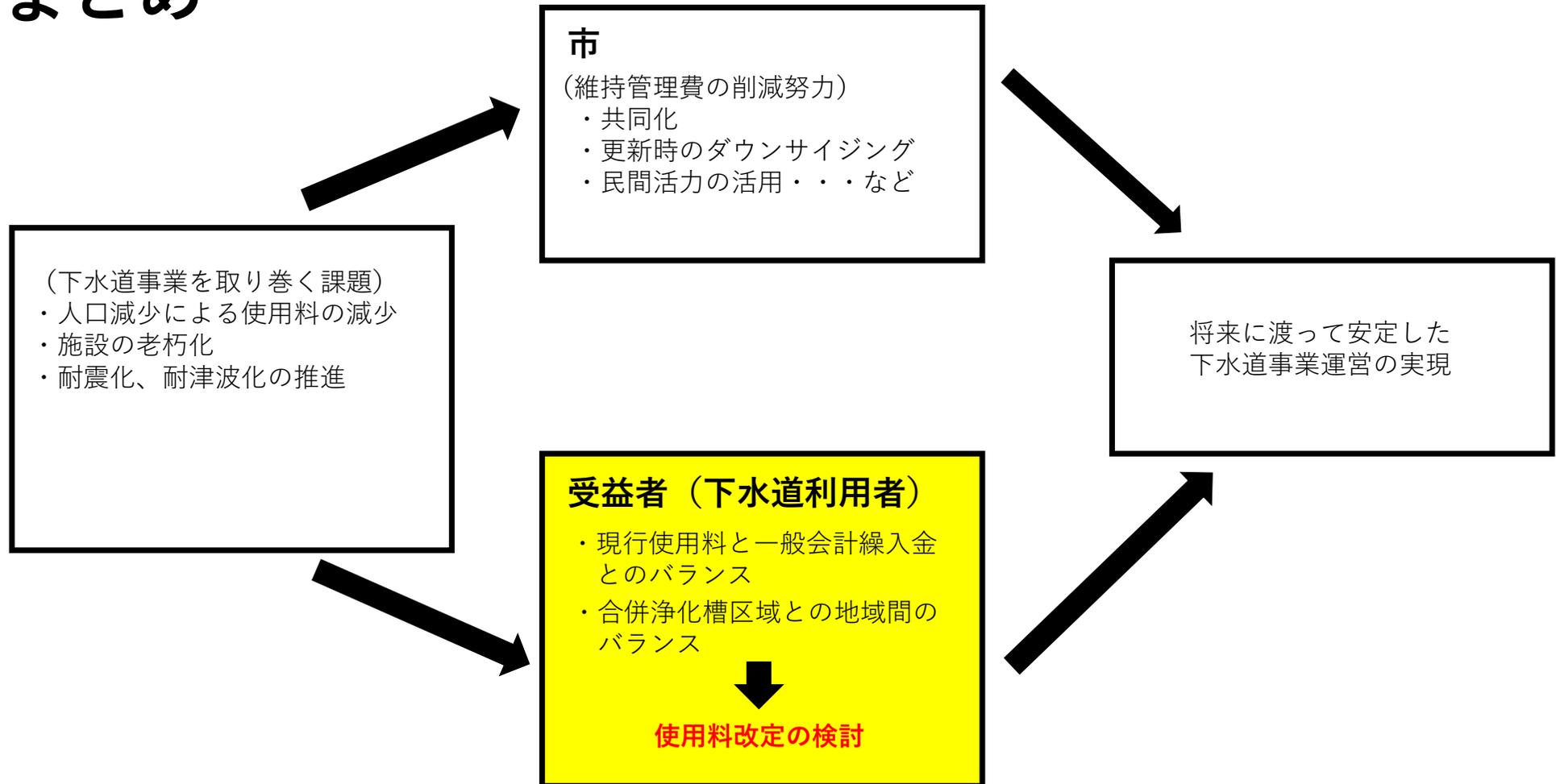
◆ 合併浄化槽の場合（5人槽～10人槽）

差額：725円/月

保守点検	9,900円	} 41,700円/年	3,475円/月
清掃料	28,000円		
法定検査	3,800円		

※下水道は使用水量に応じて維持費用が増減します。

まとめ



審議会として目指す方向性（理念）

- **公営企業の独立採算制の原則に立ちかえったあるべき事業経営**
- **世代間、地域間の費用負担公平性の確保**